

南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施します(報道公開)

名古屋高速道路公社は、南海トラフ地震を想定し、災害発生時の対応力向上を図ることを目的として、防災訓練を実施します。

訓練では、災害対策本部運営訓練のほか、折り畳み自転車を用いての路上・路下点検訓練、ジャッキによる放置車両の人力での移動訓練、路面段差を解消する軽量渡し板の設置訓練など、道路啓開の実践的な訓練を行い、職員の災害対応能力の向上を図ります。



《軽量渡し板の設置訓練》



《路下点検実働訓練》

1. 日 時

平成30年8月30日 (木) 9:00~12:00

2. 場 所

名古屋高速道路公社 本社4階 (名古屋市北区清水四丁目17-30)

3. 訓練内容

①災害対策本部運営訓練 ②路下点検実働訓練 ③道路啓開訓練(放置車両移動・路面段差解消)など

4. 訓練上の想定

南海トラフ地震が発生し、名古屋高速道路に被害が生じた状態を想定します。災害対策本部に職員が参集した状態から開始し、名古屋高速道路を道路啓開して緊急車両を通行させることができるようになるまでの一連の災害対策業務を模擬実施します。

5. 訓練参加機関および参加人数

名古屋高速道路公社 43名、(一財)名古屋高速道路協会 5名、
土木維持業者 7名 計55名

6. その他

当日の取材をご希望の方は、8月29日(水)15時までに広報課
(TEL052-919-3236)までご連絡ください。

防災訓練の概要

訓練内容・場所

①災害対策本部運営訓練 (9:00～11:00)

内容 : 災害対策本部の組織を運営し、被害状況の収集把握、点検・応急復旧の進捗管理、啓開のための指示および対外的な情報発信を行います。

場所 : 名古屋高速道路公社 本社 4階災害対策室

②路下点検実働訓練 (9:30～10:00)

内容 : 職員、協会および維持業者が名古屋高速道路の高架下を実際に歩いて点検(点検区間内の移動には折り畳み自転車を活用)し、衛星携帯電話を使って災害対策本部に報告を行います。

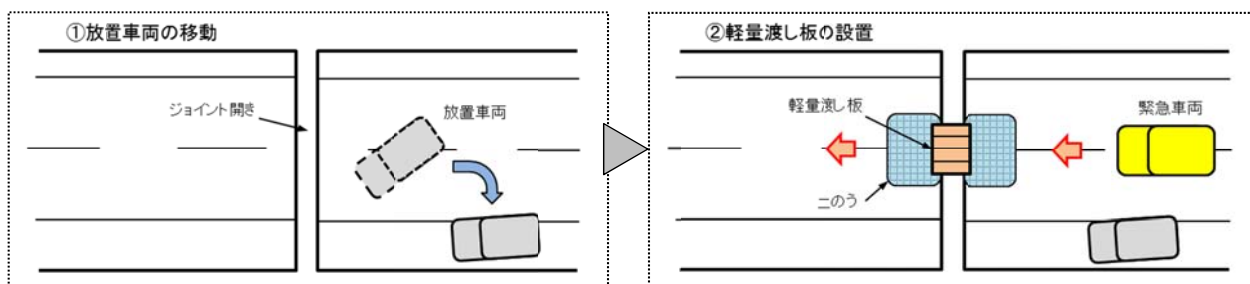
場所 : 名古屋高速道路 高架下 (本社付近)

③道路啓開訓練など (11:00～12:00)

内容① : 緊急車両の通行の妨げとなる車両排除の対策として、放置車両の移動訓練を行います。

内容② : 路面ジョイント部に開きおよび段差が生じた場合に車両が通行できるようにする応急対策として、軽量渡し板の設置訓練を行います。このとき、渡し板の設置前に、折り畳み自転車の路上点検班が先行します。

場所 : 名古屋高速道路公社 本社 3階



内容① 放置車両の移動訓練



車両移動用ジャッキ※

写真: 昨年の防災訓練状況

※駆動輪やブレーキの効いたタイヤに取り付けることで、数人での手押し移動作業が可能となる。

内容② 軽量渡し板の設置訓練

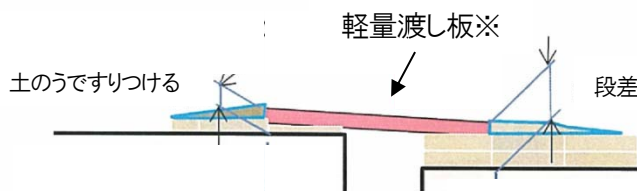


写真: 昨年の防災訓練状況

※軽量渡し板は繊維強化プラスチック製の製品。人力で運搬可能であり、かつ大型車が通行出来る強度を有している。